

コロナ禍でこそ求められる 「口腔ケア」の大切さ

日時 **6月6日(日)** 14:00~16:00 (開場 13:30)

会場 **兵庫県保険医協会 5F 会議室**

講師 岡山大学大学院・医歯薬学総合研究科・教授
日本歯科保存学会理事 日本歯周病学会常任理事

高柴 正悟 先生

参加費 無料 (どなたでもご参加いただけます)

定員 **80人** (先着順・事前申込制)



高柴 正悟(たかしば・しょうご)先生 ご略歴

1986年岡山大学歯学部卒業、同大学院歯学研究科修了、米国ニューヨーク州イーストマンデンタルセンター研究員(歯周病学)、岡山大学助教授(歯学部、改組後大学院医歯学総合研究科)、文部科学省在外研究員(米国 USC および NIDCR)などを経て2002年岡山大学教授(大学院医歯学総合研究科、改組後大学院医歯薬学総合研究科)。日本歯科保存学会理事、日本歯周病学会常任理事

口腔は微生物の宝庫に違いありません。その微生物の大多数は、細菌です。歯周病患者では、700種類で5,000億もの細菌が200cm²の面積に住み着いています。これほどの細菌に対して身体は様々な免疫応答や炎症反応を起こします。そのため、歯周組織にいる細胞はダメージを受けていることが多く、細胞に寄生して遺伝子を複製してもらうウィルスにも格好の隠れ家かもしれません。こうした環境で新型コロナウイルスも侵入しやすくなると思われます。今回は、この観点でのコロナ対策をお話しします。

コロナウイルスの特徴を利用して、洗口液の使用や歯科の受診による対策を提案し、皆様と一緒に実行と検証の方法を考えましょう。(高柴記)

→終了後、歯の健康相談(感染対策の上開催/無料)

主催 「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会
共催 兵庫県保険医協会、兵庫県民主医療機関連合会
協賛 兵庫県歯科医師会/兵庫県歯科技工士会/
兵庫県歯科衛生士会
後援 兵庫県/神戸市/神戸新聞社/朝日新聞神戸総局/読売新聞神戸総局/毎日新聞神戸支局/産経新聞社/サ
ンテレビジョン/ラジオ関西

【問い合わせ先】 兵庫県保険医協会事務局 吉永
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
TEL. 078-393-1809 FAX. 078-393-1820
ysng@doc-net.or.jp ⇒会場地図は裏面参照

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を絞って開催しますので事前にお申込み下さい。会場に手指消毒液をご用意、会場換気を致します。マスクはご持参ください。当日は講師が来場しないリモート講演会になります。

【Zoomによる参加の申し込み】 ysng@doc-net.or.jp (事務局・吉永あて)

ご希望の方はメールの件名を「6/6 市民学習会 Zoom 視聴希望」とし、①所属等、②お名前、③連絡先 e-mail 及び電話番号 を、上記アドレスまでご連絡ください。後日、Zoom の招待メールを送信します。

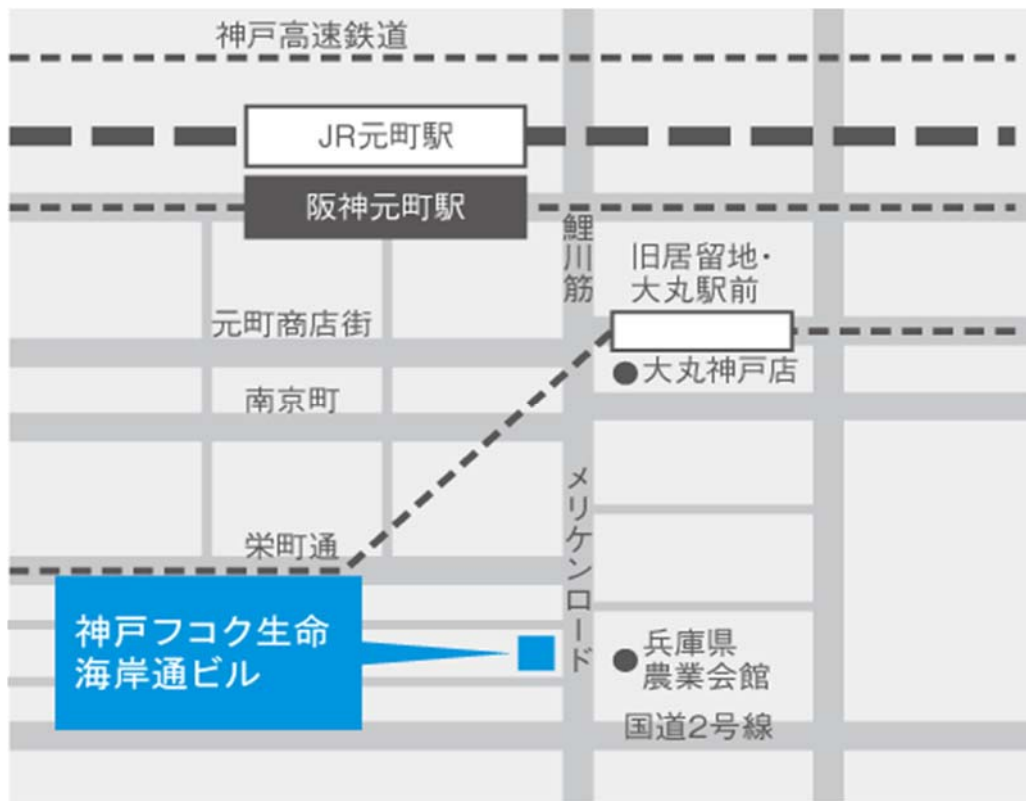
【来場による参加の申し込み】 FAX078-393-1820 または ysng@doc-net.or.jp まで

「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会 市民学習会 (6/6) に参加します

() 人 所属など _____ お名前 _____



【会場地図】



「保険でより良い歯科医療」兵庫県連絡会のご紹介（設立趣旨より）

おいしく、楽しく食べることは人生を豊かにするとともに健康の基本です。しっかりと噛むことで全身の健康状態を高めます。とくに今日の歯科医療は、糖尿病の管理をはじめ、致命的な疾患にいたる高血圧症や動脈硬化、歯性感染症、誤嚥性肺炎、認知症の予防など、全身の健康にとって不可欠な口腔機能を維持させる上で、ますます重要となっています。お口の健康を保障するためには保険で安心して歯科医療を受けられることが望まれます。

また、成人の8割は歯周病といわれ、通院困難な高齢者・障害者への歯科訪問診療など、国民の歯科医療のニーズも高まっています。

こうしたニーズに応えるよう歯科医療従事者は、「いつでも、どこでも、お金の心配なしに安心して医療を受けられる」ことを理念とした「国民皆保険制度」のもとで、憲法25条に基づく社会保障としての歯科医療に携わっています。

しかしながら、患者さんにとって必要な技術が保険で扱えない、従事者の労働力に見合うように保険点数が引きあがらない、患者さんも窓口負担が高くて受診を躊躇するなど、長く続く政府の「低医療費政策」により歯科医療は疲弊しています。高齢化が急速に進み、医療技術の進歩も著しいにもかかわらず、この数十年間、保険点数は据え置かれ、新しい技術が保険で認められていないのです。

政府が歯科医療費を増やさないため、歯科医療は危機に瀕しています。歯科技工士、歯科衛生士を養成する学校は定員割れ・廃校が続いています。歯科大学・歯学部も近年は志願者減・定員割れになるなど、お口の健康を守る歯科従事者の担い手がなくなるという深刻な事態になりかねません。

わたしたちは歯科医療の危機を乗り越え、国民の口腔の健康を守るために、歯科医療関係者と患者・住民との協同のネットワークとして、「保険でより良い歯科医療を求める兵庫県連絡会」を立ち上げ、歯科医療の充実とその大切さを国民各層に呼びかけていきます。